



津山市教委 かわら版



—津山市教育委員会だより— 平成30年7月〈第28号〉

教育長就任「あいさつ」
『一人ひとりを大切に
津山市の教育を目指して』



有本教育長

夏本番の暑さとなってきました。子どもたちは、大粒の汗を流しながら、元気に登校しています。昨今、子どもに関わる事件事故が多い中、どうか安全に元気で通学してほしいと心から願うものです。

さて、四月一日より教育長に就任し、その職責の重さに身が引き締まる思いがしております。どうぞよろしくお願いたします。

まず、私が信条とする学校教育の使命は、自らの将来を自らの力で切り拓き、ふるさと津山を愛し、地域や社会に貢献できる人材を育てることと考えます。

その使命を達成するための基盤の一つである、「学力」の低迷等が本市の最大の課題であると思っております。さらには、「不登校・

長期欠席」も深刻な問題と捉えております。

これらの課題解決にあたっては、家庭や地域の皆様方と課題を共有するために、「対話」を大切にしながら、学校と一体となって「すべての子どもたちが、素直で、そして笑顔で、生きいきとした生活にあふれる学校」の実現を目指し、「大切な人を大切に」する津山市の教育を推進してまいります。と強く決意しています。

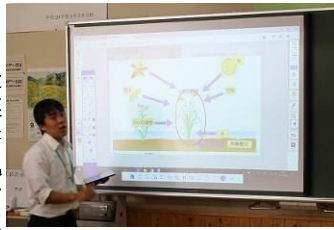
また、社会教育の充実と生涯学習の推進については、学校・家庭・地域がつながり、市民の豊かな人生と、資質・能力の向上が図られるよう、多様な芸術文化活動やスポーツの振興等を進め、まち全体で人を育む魅力あるまちづくりの実現に努めてまいりますと考えております。

これからの津山市教育の一層の充実・発展のために誠心誠意尽力してまいりますので、市民の皆様これまで同様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさついたします。

**教育委員による
学校等施設訪問の実施**

教育委員による学校等施設訪問を5月から6日間にわたり実施し、小中学校17校と、体育・生涯・文化施設を訪問しました。

小中学校では、校長・教頭先生から本年度の学校経営方針や教育活動の重点とともに、学校が抱える課題とその取り組み状況、PTAや地域との連携等について説明を受けました。



ICT 機器を使った授業

また、授業参観では、教職員の皆さん子どもたち一人ひとりを大切にする日々の教育実践に接し、これからの津山市の教育に力強さを感じました。

しかしながら、学校現場を取り巻く状況は刻々と変化していることから、その変化に対応できる学校組織

力の向上と、更なる取組への工夫・改善が必要であるとも感じたところです。特に、今年度多くの学校で整備が進むICT機器の積極的な活用による授業改善を始め、落ち着いた教室での学習環境づくりや、新採用教員等の育成に重点的に取り組んでいただけるよう、お願いしました。



ICT 機器で発表する児童

一方、施設訪問では、施設の活用がこれまで以上に促進されるよう、広報活動の充実等をお願いしました。



用地取得が進む史跡美術国分寺跡

津山市特別支援教育
『ネクストリーダー養成講座
2018』

今年度、津山市教育委員会では、津山市特別支援教育推進センターと共催し、若手教員対象の全8回の自主研修講座の研修会を開催しています。『多様な障害を有する子どもに対応するための人材育成』をねらいに、今年度は20名が受講を希望し研修がスタートしました。第1回の講座を5月25日に開催し、「発達障害のある子どもの理解に基づく具体的な支援」と題して、津山市立北小学校吉田英生校長先生にご講義いただきました。講義の中で、若手の先生が勘違いしやすい特別支援教育の視点について事例をあげながら丁寧に説明され、アセスメントに基づいた指導支援の必要性や具体的な方法について講義をいただきました。自分の知らないことや知っていないこと、実践していることやできていないことを目の前にいる子どもたちの姿を思い浮かべながら熱心にメモをとっている受講者の姿が見ら

れました。研修を終え、受講者からは、明日からの指導や支援に活かしてみたいとの感想もありました。



講義の様子

引き続き、すべての子どもたちが学級の中でいきいきと学ぶ姿を実現させるために、教師の力量を高めていけるような研修を充実させたいと考えております。

**小中学校の施設を
大規模改修中**



喬松小学校校舎

子どもたちの安全安心と良好な学習環境の整備のため、津山市立小中学校の大

規模改修を進めています。平成29年度は、喬松小学校をはじめ7校の大規模改修を実施しました。

今後とも、子どもたちが安心して過ごせる学校環境を目指して整備を進めてまいります。



津山東中学校体育館

**6月は食育月間
おかやま地産地消週間の
取り組みを行いました**

6月11日(月)から15日(金)の5日間、学校給食に津山市産、岡山県産の食材をたっぷりとした献立を取り入れました。

津山産牛ひき肉、たまねぎ、生姜などを使用した「津山じゃあじゃあ麺」や、久米地域の梅を加工したオリジナルの「梅ゼリー」などパリエーション豊かな地元食

材を学校給食で提供しました。学校からは「最高に美味しい」「生姜が効いていておいしい」などの声が届きました。



津山じゃあじゃあ麺・牛乳
茎わかめのあえもの

今後とも久米地域でとれた新高梨のシロップ漬けや、津山産のいちごを使ったジヤムなどが登場する予定です。

**よみかせキャラバン
の開催**

8月20日(月)東苦田公民館、30日(木)広野公民館において午前10時から11時まで、0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象とした「よみかせキャラバン」を開催いたします。

読書ボランティアの方に、本の読み聞かせをしていただき、空いた時間にはベビーマッサージやママ・パパ同士の交流も行われます。

また、当日は市の保健師さんも来て和気あいあいとお話しをします。赤ちゃんの体調に合わせて気軽に参加できますので、親子で一緒に絵本にふれて、ゆっくりほっこり、癒しの時間を過ごしませんか？



昨年の開催の様子

**津山市青少年育成センター
朝のあいさつ運動の実施**

4月12日(木)～6月6日(水)の間に、津山市立の小中学校をまわり、朝のあいさつ運動を実施しました。整然と並んでくる集団や、友だちと楽しそうに話しながら来る子どもたち、元気に自転車をこいでくる生徒たち。その姿はさまざまですが、この子どもたちが、「今日も一日、元気で楽しく過ごしてほしい」と願い、「おはよう」の声に心を込めて呼びかけをしています。子どもたちが

ら、「おはよう」と明るく元気な声が返ってきた時は、とてもさわやかな気分になります。

子どもたちが、朝に出会った人、友だち、先生たちに、「おはよう」のあいさつが自然にできるように、そして、気持ちよく一日のスタートが切れるようになればと願っています。

鶴山塾ボランティア「とまり木」のつどいを開催

6月21日(木)に中央公民館で鶴山塾ボランティアの総会である「とまり木」のつどいを開催しました。

「とまり木」は、開塾当初より34年間にわたり鶴山塾の教育相談活動を支えていただいております。興味や特技を生かした体験活動支援、農園作業、会報誌発行、学習支援、行事参加支援等を行っています。議事では各グループの世話人が、年間活動計画を発表し、共通理解を図りました。具体的には、ピザ作り等の調理体験やフラワーアレンジメント、農作物の栽培・収穫、会報誌の企画・発行等を、通塾生と関わりながら取り組ん

でいきます。

また、当日は、塾長よりボランティア登録証明書の交付が行われました。本年度は、50名の方がボランティア登録(登録期間は2年間)をしています。



市長と津山市PTA連合会役員とのランチミーティング開催

平成30年6月29日(金)、市役所3階庁議室にて市長と市P連役員とのランチミーティングを開催しました。昼食をとりながら、なかなか雰囲気の中、津山市の教育について語り合いました。学力向上のために必要なこととして、生活習慣の改善、学習習慣の確立という二つの話題を中心に、子どもたちを取り巻く社会状況や学校現場での課題な

ど、出席者それぞれの視点から多くの意見やアイデアが出されました。



PTA活動については、皆が参加しやすい会にすること。学校教育については、地域の人的支援を取り込む地道な活動を展開するなど、限られた予算の中で実践できることを積み重ね、津山の子どもの健やかな成長と、幸せな将来を願い一致団結して頑張る、との思いを新たにしました。

津山市『図書館を使った調べる学習コンクール』を開催

市教育委員会は、今年度も小・中学生が疑問や興味を持ったことを、調べてまとめた作品を募集するコンクールを開催します。対象は、津山市在住・在

学の小・中学生(個人またはグループ)で、テーマは歴史・観光・人物・特産物・産業・地形・気候・化学など図書館にある資料を使って調べた作品なら何でも構いません。



ジラベルくん
©山崎博隆

7月から8月にかけて津山男女共同参画センターさんをはじめ鶴山公園・津山洋学資料館・津山弥生の里文化財センターでのサポート勉強会の場を設け、調べる学習の内容のヒントにしてもらい、市立図書館や学校図書館等で調べのお手伝いをします。

また調べる学習サポート相談会を7月23日から25日と、8月20日から22日の2回開催し、調べ方やまとめ方の問い合わせに応じています。

コンクールの優秀作品は表彰し、市立図書館等で展示するとともに、冊子にして市内全小・中学校へ配布

します。また、作品の一部を公益財団法人図書館振興財団が主催する全国コンクール「図書館を使った調べる学習コンクール」へ推薦します。

※コンクールや相談会への申込・問い合わせは、市立図書館まで。☎24291

「第18回図書館まつり」を開催します

「第18回図書館まつり」を8月18日(土)に開催します。

午前11時から、人形劇「ぐりとぐら」をたんぼぼの家の皆さまの出演で開催します。絵本でおなじみの「ぐりとぐら」が楽しい人形劇になります。ご家族そろってお越しください。

また午後2時から元・津山郷土博物館館長の尾島治さんをお迎えして講演会「津山城拝領く松平家の新領地請け取りく」を開催します。歴史ファンの方におすすめです。

同じく午後2時から「布えほんボランティアの会」による「牛乳パックでバックを作りましょう」な



ど、楽しい工作を行います。こちらは市立図書館までお申込みください。

午前11時から午後4時まで「楽しい！かっぱみくじ」、午後1時から午後4時までは図書館入口で当日の貸出しシート（5冊以上）と引き換えに「雑誌の付録プレゼント」を行います。

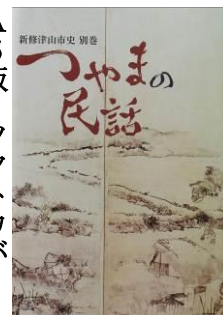
何が入っているかわからない「本のお楽しみ袋」など、おなじみのイベントもご用意しています。

夏休みに大人も子供も参加できる楽しいイベントを多数ご用意しておりますので、是非足をお運びください。

※お問い合わせは、市立図書館まで。TEL 24・291

「つやまの民話」を
刊行しました

市史編さん室では、このたび新修津山市史の別巻として『つやまの民話』を刊行しました。執筆者は、市内旧久米町のご出身で民話の大家である立石憲利先生です。平成26年から調査を開始し、市内各所でのべ98人の方からお話をうかがったほか、多くの既刊書からも引用した結果、760もの民話を収録しています。



A5版・ソフトカバー・本文640ページで、昔話・伝説・村話の3章からなります。第1章の昔話には、「猿神退治」などのむかし語りのほか、「ほととぎす兄弟」などの動物昔話や笑い話、第2章の伝説には、地域にある木や石、淵などにまつわる話、第3章の村話には、狐に化かされた話などの世間話が収録されています。語り継ぐ人の減少により、

夏はさらに楽しい！室内
温水プール「グラスハウス」

グリーンヒルズ津山にあるグラスハウスには遊泳プールのほか、スリリングな気分が味わえるウォータースライダーやワイルドリバー、ゆったりとリラククスできる3種類のサウナ、温泉水を利用したジャグジーなどがあり、大人から子どもまで楽しめます。



室内プール

夏休み期間は無休で、屋外の流水プールや、夜は幻想的なナイトプールもお楽しみいただけます。営業時間は10時から21時まで。

※お問い合わせは、グラスハウスまで。TEL 27・7140



出版記念講演会を開催

本書は、郷土博物館と市内の書店で1冊税込2千円で販売しています。まず目で目を通して、面白そうだと思っただけから、気軽に読んでみてください。

いずれは忘れ去られる運命にあった数々の民話を記録することで、後世への伝達が可能となりました。

6月17日には、グリーンヒルズ津山リージョンセンターで出版記念講演会が開催され、約150人の来場者が詰めかけました。立石先生の講演と語り、津山語りの会による語りの2部構成で、とてもいきいきとした語り



教育委員会関係課： 教育総務課 学校施設課
学校教育課 保健給食課 生涯学習課
図書館 文化課 津山市史編さん室
スポーツ課 こども課 歴史まちづくり推進室

発行 津山市教育委員会
(編集 学校教育部教育総務課)
〒708-8501
津山市山北520番地
TEL 0868-32-2112 (直通)
FAX 0868-32-2157
E-mail: kyouiku@city.tsuyama.lg.jp